

教育施設 967 機関アスベスト飛散のおそれ 文科省



文部科学省が平成 17 年 7 月に国公立学校、公立の社会教育施設、社会体育施設、文化施設、所管の独立行政法人、認可法人、特殊法人などに対し、8 年度以前に竣工した建築物に使用されている、吹付けアスベスト、吹付けロックウール、吹付けひる石などを調査し報告するよう求めていたものについて、18 年 4 月末時点で実態調査が未完了だった教育関連施設の 18 年 5 月末時点での調査状況をまとめたものが 18 年 6 月 30 日付けで公表されました。

18 年 4 月末時点で吹付けアスベスト使用実態調査が未完了だった機関は全調査機関数 151,925 のうち 24 機関です。今回の公表内容によると、5 月末までにうち 16 機関の調査が完了しました。

吹付けアスベストなどを使用した部屋があると回答したのは 24 機関中 4 機関で、うち対策実施済みの部屋がある機関は 2 機関。未対策で飛散のおそれがない部屋があるとしたのは 4 機関。未対策で飛散の恐れがある部屋があるとした機関は日本大学 1 機関でした。

18 年 4 月末時点についての発表内容とあわせると、吹付けアスベストなどを使用した部屋があると回答したのは累計 8,600 機関、うち未対策で飛散のおそれがある部屋がある機関は 967 機関となりました。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2006 年 6 月 30 日付 EIC ネット

環境分析箇所 重田郁美